

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

北海道

行事名称	第69回文化財防火デー 札幌市時計台消防訓練
実施期間・日時	令和5年1月23日(月) 午前10時00分～午前10時30分
実施場所	重要文化財 旧札幌農学校演武場(時計台) 札幌市中央区北1条西2丁目
主催者	指定管理者(エムエスマンションマネジメントサービス(株))

■実施内容

訓練の想定

国指定重要文化財の時計台内1階東階段室倉庫より漏電火災が発生、東階段が煙で充満し使用できない状態、館内には外国からの観光客も含め多数の観覧者がいることを想定

訓練の内容

火災受信機にて火災エリア確認後、指定管理者職員により火災確認、初期消火後、移動式粉末消火設備を用い、初期消火を想定実施、1階及び2階の避難誘導、延焼防止のため、屋外消火設備にて放水作業を実施

参加者及び役割分担

消防隊長1名(統括、119番通報)

非常袋持出、待機場所設置1名(非常袋持出、避難待機場所設置、屋外放水支援)

初期消火1名(初期消火、移動式粉末消火設備にて消火、屋外放水)

初期火災確認・避難誘導2名(初期火災確認、避難誘導)

特に工夫した点

想定時間内にて指示、避難誘導、初期消火、119番通報が出来るかの確認を行った。

英語・中国・韓国語で「避難してください!」と記したパネルを利用し、避難誘導時に掲げて、外国から来た方々にも理解してもらえるようにした。

開館前に展示室非常ボタンを押し、機器の操作方法を確認した。

問題点・課題

非常放送が鳴っている状況で指示を出しても、職員には伝わり難いことが判明した。

今後、音声の停止作業を落ち着いて行い、迅速かつ的確に指示を出せるよう、実践していきたい。

火災受信機で火災エリアを確認した後、来館者が多くなるほど、火災現場確認に時間を要することが判明した。

今後、火災現場までの効率的なルートをきちんと把握する必要がある。

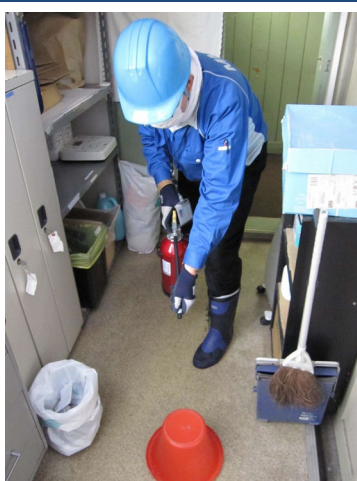
その他

文化財防火デーのポスターを掲示し、職員及び来館者の方へ文化財保護の意義を広めていくことが重要である。

訓練風景



避難誘導の様子



初期消火の様子



放水の様子